

# 産業別四半期見通し調査結果 (2020年7～9月期見通し)

## ■長野県産業天気図

### ◇2020年4～6月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が1業種、「小雨(低調)」が5業種、「雨(不調)」が6業種となった。

### ◇2020年7～9月期の見通し

- 見通しは、「薄日(順調)」が1業種、「小雨(低調)」が5業種、「雨(不調)」が6業種となった。方向感では、「やや上昇」が4業種、「横ばい」が7業種、「やや下降」が1業種となっている。

天気図記号	2020年 1～3月期現況	2020年 4～6月期現況	2020年 7～9月期見通し
 晴れ(好調)	0 業種	0 業種	0 業種
 薄日(順調)	1 業種	1 業種	1 業種
 曇り(普通)	3 業種	0 業種	0 業種
 小雨(低調)	7 業種	5 業種	5 業種
 雨(不調)	1 業種	6 業種	6 業種

## ■7～9月期見通しのポイント



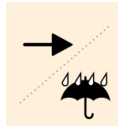


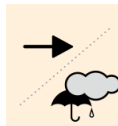


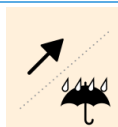


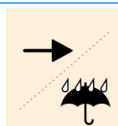
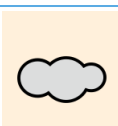

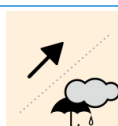
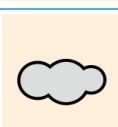

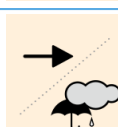


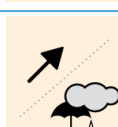



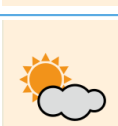
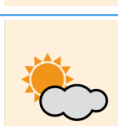
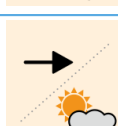


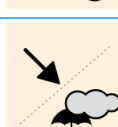


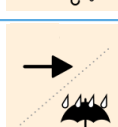


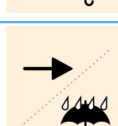
- 製造業、非製造業ともに天気マークの変化はなく、新型コロナウイルスの影響により多くの業種で「小雨(低調)」「雨(不調)」が続く見通し。



照 会 先  
一般財団法人 長野経済研究所  
調査部(担当: 桑井、中村(亮))  
TEL: 026-224-0501


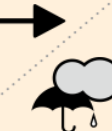




## <産業別天気図一覧(12業種)>



- 調査内容: 業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間: 2020年6月中旬～7月中旬
- 調査回答企業: 県内主要企業12業種の127社



業種	前期 (1～3月期)	今期 (4～6月期)	来期 (7～9月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			



生産用機械	自動車関連を中心に厳しい受注環境が続く見通し
<p>● 現況</p> 	<p>工作機械や半導体製造装置などの生産用機械の受注は、新型コロナウイルス(以下、新型コロナという)の影響で、設備投資の先送りや凍結がみられ大幅に減少した。今後も、自動車関連を中心に需要の回復は見込みにくく、厳しい受注環境が続く見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>工作機械</b>の受注は、国内は主力の自動車関連を中心に落ち込みが続く見通し。中国向けはIT関連で持ち直しが見込まれるものの、自動車関連は低調な見通し。米国・欧州向けは引き続き低迷する見込み。</li> <li>• <b>半導体製造装置</b>の受注は、テレワーク需要の高まりからデータセンター向けは堅調を見込む一方、自動車向けは低迷し、装置全体では低調が続く見通し。</li> </ul>



電子部品・デバイス	スマートフォン向けは需要減少を懸念、自動車向けの受注は低調が続く
<p>● 現況</p> 	<p>スマートフォン向けの生産は堅調だったが車載用向けは大幅に減少した。今後は、新型コロナの影響に伴う所得環境悪化から、こうした部品が組み込まれる最終製品の需要減が懸念されるほか、各種製造装置向けは低調に推移するとみられ、総じて部品受注は低調な見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>スマートフォン</b>向けは、今後は雇用・所得環境の悪化により需要が弱含む懸念はあるが、今秋発売予定の新型モデルの受注は堅調が続く見通し。</li> <li>• <b>車載用</b>は、新型コロナの影響により、今後も部品受注は低調な見込み。</li> <li>• 各種製造装置に組み込まれる<b>産業用の電子制御部品</b>は、中国の半導体製造装置向けなど一部に堅調な動きもあるが、全体では設備投資の慎重化から低調に推移する見通し。</li> </ul>



自動車部品	受注は徐々に持ち直していくとみられるが、低調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響で世界的に完成車メーカーが工場の稼働を一時停止したことや生産調整を実施したことにより、受注は大幅に減少した。ただ、中国はいち早く工場が再稼働し中国向け受注は順調だった。中国以外の工場も徐々に再稼働し始めていることから、受注量は持ち直していくとみられるが、新車需要の回復力に力強さはみられず、受注は低調となる見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>国内向け</b>は、低調な推移が続くものの、新型車向けを中心に受注は徐々に向上見通し。</li> <li>• <b>北米向け</b>は、現地の工場は再稼働したものの稼働率は低く、受注は低調を見込む。<b>中国向け</b>は、日系メーカー車の販売は順調であり、安定した受注が見込まれる。<b>東南アジア向け</b>は、タイやインドネシアなどで新車需要が落ち込んでおり、受注は低調となる見通し。</li> </ul>



飲料製造	外出自粛の解除によりやや持ち直すが、低調な需要を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響による外出自粛と、宿泊施設や飲食店などの休業で、飲料需要は大幅に減少した。今後は外出自粛の解除を受けて需要はやや持ち直すものの、新型コロナの影響で宴会需要は低迷が続くとみられ、総じて需要は低調となる見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>清涼飲料水</b>の需要は、外出自粛により大幅に減少した。今後、<b>果汁飲料</b>は今年の台風19号によるリンゴ産地の被災から原料不足が予想され、生産は低下する見込みであるが、清涼飲料水全体では外出自粛の解除を受けて需要はやや持ち直すと思われる。</li> <li>• <b>清酒やワインなどのアルコール飲料</b>は、飲食店や宿泊施設の営業が再開し、需要は若干持ち直すが、規模の大きな宴会は増えないとみられ、低調な需要が続く見通し。</li> </ul>



食料品製造	家庭用の需要は堅調、業務用は持ち直すものの低調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用需要は調理が簡便な冷凍食品や保存性の高い即席みそ汁などを中心に堅調だったが、外出自粛により宿泊施設向けや飲食店向けなどの業務用需要は低調に推移した。今後は、外出自粛の解除を受けて、外食向けの需要が緩やかに持ち直すと思われる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>味噌</b>は、即席みそ汁など調理が簡便な家庭用の商品が堅調な需要を維持するほか、外出の機会が徐々に増え、外食向けの業務用みそも緩やかに持ち直す見通し。<b>乾燥食品や大豆関連製品</b>は、家庭用の需要は横ばい、業務用は緩やかに回復する見通し。</li> <li>● <b>コンビニ向け惣菜</b>は、イベントや旅行などでの利用が少しづつ戻るとみられるが、需要は低調な見通し。<b>加工肉</b>は、無添加製品を中心に家庭用の需要が引き続き堅調な見込み。</li> </ul>



機械器具卸	需要減から受注は低調に推移する見込み
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響による需要減で、受注は大きく減少した。今後は、徐々に経済活動の正常化が見込まれるものの、需要減は続き受注は低調に推移する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>工作機械やFA機器などの機械受注</b>は、設備投資の抑制が続き低調な見込み。機械に取り付ける<b>切削用工具類などの消耗品受注</b>は、生産活動の回復力が鈍く低迷する見通し。</li> <li>● <b>空調機器</b>は、教育施設での空調設置工事が続くほか、需要期を迎えるため堅調な受注が続く見込み。</li> <li>● <b>電設資材</b>の取扱量は、公共工事で学校関連の改修・設備工事が見込まれるものの、民間工事で企業の設備投資が少なく、全体では減少する見通し。</li> </ul>



大型小売	感染防止に向けた内食需要が続き、食料品は堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>大型小売店は、新型コロナによる買いだめや外食控えなどで食料品は堅調だったものの、衣料品は感染防止に伴う営業自粛などで低調に推移した。今後は、感染防止に向けた内食需要が続くとみられ、食料品は堅調に推移する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>百貨店</b>は、緊急事態宣言の全面解除により、客数、売り上げともに持ち直しがみられ、中元ギフトなどの食料品は堅調な推移を見込む。一方、衣料品は感染防止のために店舗やブランドごとにセールを分散化させることから集客力が弱く、売り上げは前年を下回る見通し。</li> <li>● <b>スーパー</b>は、外食を控え食材を購入して家庭で調理する内食需要が続いており、食料品を中心に堅調な推移が見込まれる。</li> </ul>

自動車販売	低調ながら、新型車を中心に徐々に上向く見込み
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの感染拡大による外出自粛で客数が減少し、加えて完成車メーカーの一時的な生産停止や生産調整による納車遅れも発生し、販売台数は前年を大きく下回った。今後の雇用・所得環境の不透明感に伴う節約意識の高まりなどから、需要の回復力は乏しいものの、客足は戻りつつあり、販売台数は徐々に上向くとみられる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新車販売</b>は、低調を見込むが、生産再開や新型車効果により徐々に上向いていく見通し。</li> <li>● <b>中古車販売</b>は、価格を抑えたい一部の消費者が新車から中古車へ購入の検討を変更する動きはあるものの、先行きの不透明感から全体では低調な推移を見込む。</li> <li>● <b>輸入車販売</b>は、海外工場の稼働率が低く、納車が遅れているため、低調となる見通し。</li> </ul>

公共工事	台風災害の復旧に伴い国や県を中心に安定した工事量が続く
<p>● 現況</p> 	<p>昨年の台風19号災害の復旧工事が本格化し、工事量は増加した。今後も、国や県発注の土木工事を中心に安定した工事量が続く中、施工管理者の不足が一層顕著になるとみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国では、三遠南信自動車道の建設に伴う周辺整備が続くほか、国土強靱化や災害復旧による堤防工事なども多く発注されており、例年を上回る工事量となる見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県では、東信地域の千曲川沿いを中心に台風被害を受けた河川の復旧工事が本格化しているのに加え、山間部の治山工事などもあり、堅調な工事量が見込まれる。</li> <li>● 市町村でも、災害復旧に伴う土木工事が継続されるほか、文化施設や学校関連の改修・設備工事などが見込まれ、例年並みの工事量となる見通し。</li> </ul>

民間工事	設備投資計画の見直しなどから低調な工事量が続く
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響により企業の設備投資計画が一部見直されるなど、建設投資は低調だった。先行きも不透明な状況にあり、工事量は引き続き低調に推移する見通し。新設住宅も、コロナ対応による建築工事の遅れや需要の減退などがあり、受注は落ち込むとみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業の建設投資は、新型コロナの影響により、工場や宿泊施設などの建築計画に延期や見直しが生じ始めており、低調に推移する見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅関連は、中国製の建設資材にみられた調達遅延は解消されたものの、コロナ対応で現場作業や顧客との打ち合わせが停滞し、工事に遅れが生じている案件もある。また、雇用・所得環境への不安が住宅ニーズに影響し始めており、新規受注は低調な見込み。</li> </ul>

貨物	工業製品を中心に運送量の落ち込みが続く見込み
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響に伴う生産活動の停滞により、工業製品を中心に貨物需要は減少した。需要の回復には長期間を要するとみられ、当面、運送量の落ち込みは継続する見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産用機械の運送量は、新型コロナの影響による海外需要の落ち込みが大きく、完成品の出荷が少量にとどまる見込み。自動車部品関連は完成車メーカーで生産が再開されているものの、需要の回復力は弱く、運送量は低調に推移する見通し。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品関連は、スーパーマーケット向けの荷動きが堅調に推移するとみられる。飲料も夏場に向けて輸送機会は増えるが、新型コロナの影響から観光地や宿泊施設などに向けた貨物需要は落ち込みが続き、総じて例年を下回る運送量が見込まれる。</li> </ul>

観光	新型コロナの影響が継続し、観光客数は低調となる見通し
<p>● 現況</p> 	<p>緊急事態宣言に基づく外出自粛要請により、観光客数は大幅に減少した。緊急事態宣言解除後も県境をまたぐ往来の自粛が促され、宿泊施設では休業や営業規模縮小、旅客では運休といった対応を余儀なくされた。今後は、GoToキャンペーンへの期待もあるが、新型コロナ感染への不安から、観光客数は引き続き低調に推移することが見込まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅客は、観光列車や高速バスでは乗客数制限、タクシーでは消毒や換気などの感染防止対策をしているものの、感染に対する不安は残り利用客数は低調を見込む。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊施設は、県民限定の信州地域支えあいキャンペーンによる一定の利用は見込まれるものの、客室数を限定するなどの感染防止対策により、稼働率は低い状態が続く見通し。</li> </ul>